生活介護ここ
体験授業しポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年9月3日（火）

「丁寧に見学や授業をしてくださり、こちらのペースにも合わせてくださり感謝しています。」

生活介護ここが外出体験活動として、昔の文化に触れ体験することを目的に、利用者さん２人と指導員さん３人が、発掘調査と周辺遺跡の話と勾玉作り体験を行いました。

発掘調査と周辺遺跡の話

展示室１～３を短時間で見学し、体験学習室で発掘調査と生活介護ここ周辺にある遺跡について話しました。庵原球場のすぐ近くに塔作古墳があることを知り、驚いていました。

他にも、三池平古墳や神明山古墳、尾羽廃寺跡等、たくさんの遺跡があることを確認しました。

「周辺遺跡の地図が分かりやすかった。」

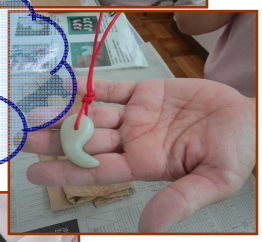
「センターがきれいで、ながめがよかった。」

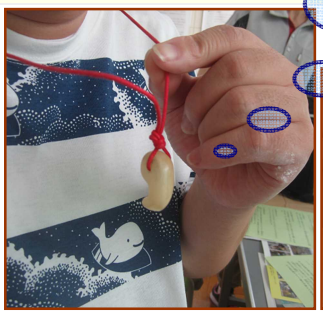
勾玉作り体験

古墳の話の後、縄文時代から弥生時代を経て、古墳時代まで、連綿とつながっていった日本固有の勾玉について話をしました。メノウやヒスイなどの硬い石を時間をかけて磨いていたことなどを説明し、滑石を紙やすりで磨き始めました。滑石は柔らかい石なので、同じところを長く磨かないよう注意しながら形を作り、キズを取り、表面をつるつるに磨きました。色を着けて紐を通して出来上がりました！

「勾玉作りが楽しかった。」

「エスパルスカラーにしてくれてうれしかった。」





指導員さんの感想

「周辺遺跡の話では、わたしたち施設の近くにあることが分かり、地図を見て「庵原だ」と利用者さんが教えてくれ、遺跡が身近な存在であることが分かりました。勾玉作りでは、実際に手に触れて活動が出来、完成したときに嬉しかったという感想がありました。特性に合わせて配慮していただき、次もやってみたいと思っていただけました。センターの職員さんには、丁寧に見学や授業をしてくださり、こちらのペースにも合わせてくださり感謝しています。説明も分かりやすかったです。」